

# 命名規則

---

以前の課題で触れた命名規則について触れていきます。

命名規則はJavaScriptだけでなく、HTML/CSS、他のプログラミング言語でも存在します。

## 命名規則とは

コーディング、プログラミングを行う際、id名、class名、変数名、関数名を適当な名前にしてしまうとあとで見返した時にどう言った役割なのかが分からなくなってしまいます。

また、複数人で開発することもあり、それぞれが自由名前もつけてしまうと統一性のないものができてしまうので統一性を持たせる為に命名規則を用います。

## 言語ごとの命名規則

HTML/CSSの命名規則にも軽く触れますがより踏み込んだ内容については今後の課題で出します。

### HTML/CSS

- id名、class名は小文字を使用する。

ブラウザには、標準モードと互換モードと言う2つの描画モードが備わっています。

標準モードは、HTML/CSSをの文法解釈を厳格に解釈するようになっています。

たとえば「CONTENTS」、「contents」、「ConTenTs」とそれぞれ大文字、小文字を使ったclass名が存在したとします。

標準モードの場合、それらがすべて違うclass名として認識します。（スタイルをあてる時はそれぞれのクラス名を書く必要がある。）

それに対し互換モードはあまり正しくない文法でも解釈するようになっています。

「CONTENTS」、「contents」、「ConTenTs」もすべて同じclass名だと認識します。（どれか1つのクラス名ですべて要素にスタイルがあたる。）

今はChromeのみで作業していますが、実際の実務になるとそれ以外のブラウザでも動くようにしなければなりません。

なので標準モードの対応もかねて小文字で書くようになっています。

- 文字の区切りは"-"または"\_"を使用する

たとえばこんなclass名があったとします。

```
class="navcontents"
```

class名に役割を持たせる観点から見ると分かり難いです。また、navとcontentsの2ワードですがこれだと1ワンワードに見えてしまいます。

なのでその可読性も上げる為とSassを使用した時の作業の簡略化もかねて、`-`または、`_`を使用します。

`-`で文字を区切る名称をケバブケース

`nav-contents`

`_`で文字を区切る名称をスネークケース

`nav_contents`

- JavaScriptの関数名、変数名はキャメルケースを使用します。

JavaScriptも大文字、小文字を厳格に処理します。また関数名、変数名はキャメルケースを使用するのが一般的となっていますのでそれに従います。

キャメルケースは2ワードを使用して名称を付ける際、2ワード目の頭文字を大文字にする方法です。

`const addNum = 1`

## 課題

1. 命名規則に従う理由をまとめてください。
2. ケバブケースを使用したclass名を書いてください。
3. スネークケースを使用したclass名を書いてください。
4. キャメルケースを使用した変数名を書いてください。